

いよいよ「ぎんが祭」が間近に迫っています。行事の経験を自らの「資産」にするには？

日常の何気ない日々の生活が「休校」、遠足も中止（延期）、春のクラスマッチも中止。通常の蟻高生が経験してきた様々なイベントを経験できない中、皆さんの高校生活の中で「希望の星」となっているぎんが祭。いよいよですね。高校の文化祭は中学校の文化祭と比較して圧倒的に「自由」です。中学校の文化祭が日常の学習の成果の発表の場であるのに対して、高校の文化祭は「お祭り」的な要素が強いです。単純に比較はできないのですが、学校の教育活動の一環として実施される文化祭で1年生の皆さんに考えてもらいたいことが2点あります。

①委員会、部活動、各種係、学級など **① 組織のために自分はどんな貢献ができたか？**

②スマホのコンテンツを消費するだけでなく、自ら何か価値をアウトプットできたか？

②は①に直接は関係ない。例えば、他人を笑わせることも立派なアウトプットです。

この2点を自分自身の心に問いかけてもらいたいのです。3年生の先輩方、特に役員の人たちは「自分たちの力を出して仲間と協力してぎんが祭を絶対に成功させるんだ」という強い気持ちを持って取り組んでいます。そして、何かイキイキしていますよね。他人が作ったコンテンツを消費する楽しさ（例えば、スマホのゲームをしたり、映画を見る、本を読む）だけではなく、**自らが必死に考えてコンテンツを生産する楽しさ**を先輩方は味わっているのです。この楽しさを1年生の皆さんも学級活動を通じて存分に経験してもらいたいのです。

1組から7組までのクラスの様子を見ているとみんなの「人間力」がはっきりに出てきて興味深いです。授業とは違って、皆さんの「素」の部分を見ることができます。人に指示を与えて、リーダーシップを発揮しようとする人、指示を聞いて動く人、目的なくスマホを見ている人、友達と雑談しながら製作活動をする人、様々です。そしてこの活動に「正解」はありません。もし、皆さんが進学希望先の面接で「文化祭前の学級活動ではどんなことを考え、どんな行動をしたか、そしてそこから何を学びましたか？」と聞かれたら、どんな回答をするか楽しみです。学校行事は授業ではありませんが、教育活動です。ですから、そこには必ず目標や狙いがあるのです。こういった行事は日常の勉強以上に重要なその人自身の「力」が問われています。言い換えれば「自分で考えて行動できるか」どうかです。時間の使い方も含めて上記で指摘した2点を振り返ってみてください。ぎんが祭に向けての取り組みは次のテスト勉強にも活かされるはずですよ。

経験を資産化するフレームワーク **具体的エピソード** → **抽象化** → **転用**

文化祭での経験を別の場面で活かす方法をお伝えします。まずぎんが祭に向けて自分自身が苦労したことや頑張った具体的なエピソードを書き出します。以下は具体例になります。

具体的エピソード

教室の壁の装飾のデザインを決める際、みんなに意見を求めたら、アイデアがたくさん出てきて時間内にまとまらなかった。

抽象化

人からアイデアを集めて集団で意思決定するには時間がかかる。

転用

合唱コンファレンスの曲決めの際は、前もってアイデアを叩いて、選択肢をいぼって意思決定を行った。

経験したことから学んだことを抽象化して、他の場面で転用すると、その経験は次に活かされます。是非、実践してみてください。

ぎんが祭が終われば、定期テストⅡ 進研記述模試 先の見通しはあるかな？

6月25日(金)	6月26日(土)	6月27日(日)	6月28日(月)	6月29日(火)	6月30日(水)
ぎんが祭	ぎんが祭	ぎんが祭	ぎんが祭	振替休日	火曜通常日課

7月1日(木)	7月2日(金)	7月3日(土)	7月4日(日)	7月5日(月)
探究日課	通常日課	休日	休日	月曜通常日課

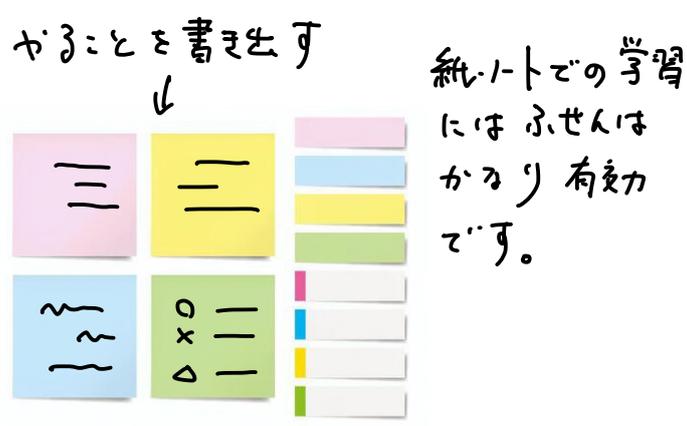
7月6日(火)	テスト時間	7月7日(水)	7月8日(木)	7月9日(金)	7月10日(土)
火曜通常日課	8時55分～9時55分	現代社会・世界史A	数学1・A②	現代文	進研記述模試 (英語、数学、国語) 全員受験
	10時10分～11時10分	数学1・A①	コミュニケーション英語Ⅰ	英語表現Ⅰ	
	11時25分～12時25分	古典	生物基礎	家庭基礎 (50分)	
	13時10分～13時50分	化学基礎			

今週末から始まるぎんが祭。その後、あっという間の定期テストⅡになります。テストまでの「時間を見える化」させると左図のようになります。皆さんはこれを見て、どんな行動に移りますか？
「生産性最強人間」を目指すなら・・・以下の事例を参考にしてください。

テストまでに「勉強に使える手持ち時間」を計算する。

- 6月25日 (金) 2時間
- 6月26日 (土) 2時間
- 6月27日 (日) 0時間 ← 「あえてぎんが祭を満喫するため」0に設定するのも一つの方法
- 6月28日 (月) 3時間
- 6月29日 (火) 11時間 ← 何もない休日は、ゆくりの勉強時間を確保してもらいたいです。
- 6月30日 (水) 4時間
- 7月1日 (木) 4時間
- 7月2日 (金) 4時間
- 7月3日 (土) 11時間
- 7月4日 (日) 12時間
- 7月5日 (月) 4時間
- 7月6日 (火) 4時間
- 7月7日 (水) 6時間
- 7月8日 (木) 7時間
- 7月9日 (金) 1時間

テスト当日の朝も勉強ができます。
直前は集中力がかなり高まります。



※定期考査最終日までに「自分の勉強に使える時間は」全部で75時間あります。焦る必要はないです。自分が使える手持ちの時間を計算して、その中で「定期テストに向けて自分のやるべきこと」をやっていくだけしかありません。各教科のテスト範囲を見ながら、自分のやるべきことをふせんか何かに書き出してみてください。その後、その書き出したリストに優先順位をつけて、どの日のどの時間に何をやるかを決めるだけです。勉強で最も大切なことは「自分のできないことをできるようにする」ことです。特に高校の勉強は分量が中学校と比較して、ケタ違いに多いので、事前にやることを書き出す必要があります。言うまでもなく当たり前のことですが、日々の授業の時間も大切です。「授業の時間の中で覚えてしまう」「授業の時間の中で理解してしまう」と圧倒的に効率がいいですね。学校では「先生に質問し放題」なので、分からないこと、できないことを明確にして効率的に学習をすすめていってください。

定期テストが終わると、進研模試も実施されます。こちらも高校生活初の全国記述模試です。全国の高校生が受験する模試です。模試を通して自分の学習の弱点を把握しましょう。